

# 平成23年度 馬込第三小学校学校経営計画

大田区立馬込第三小学校

校長 小家 建

## 1. 目指す学校像

地域に愛され、地域とともに学ぶ学校

- ・愛情と信頼の土台の上で子どもたちが生き生きと活動する学校
- ・地域に学び、地域に生まれ、社会に貢献できる子どもの育つ学校
- ・創造に満ち、夢と希望を育む学校

## 2. 本校の現状と課題

地域連携や、学校を開く視点に立った経営方針のもとに具体的な教育活動が実施されてきたことで、防犯活動や地域行事、地域に根ざした学習などの連携において成果が出ている。

しかし、学校公開は一定の成果を上げつつあるものの、道徳授業地区公開講座への関心を高め、参加者をふやしていくためにはよりいっそうの工夫が必要である。保護者の参加したい学校公開と学校が保護者に参加してほしい公開の内容が異なっていることは課題である。また、不登校や問題行動など、児童理解や対応力・指導力・家庭との連携等の不足による課題もある。

同時に、家庭の教育力の低下や養育能力の不足による課題も増加してきており、児童委員・民生委員・児童相談所・児童館・町会といった関係諸機関とのより一層密接な連携が必要であると共に、学校から地域・保護者に対する効果的な情報発信と啓発活動が必要である。

若い世代の教員が増え、学校に活気と創造的な機運が高まっている。しかし、指導力や保護者対応力については、OJTを通してより一層の指導力向上に力を入れていかなければならないのが現状である。

## 3. 学校経営目標と方策

### (1) 中期的目標と方策

開かれた学校の創造を柱に学校を取り巻く多くの人たちの力で知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指す。

- ・毎学期の公開日、公開週間を継続する。
- ・公開日では、日常の安定した学習の状況を参観者に理解してもらうために、工夫された指導と年間計画に基づいた学習内容に重点を置く。セーフティ教室も継続する。
- ・総合の学習以外でも、学習協力者の利用と拡大を図り、地域の教育力を学校教育に生かす。
- ・地域教育連絡協議会との連携を強化し、地域と連携した教育活動を進める。
- ・地域教育連絡協議会委員も含めて、学校評価（アンケート）内容の検討と改善を進めるとともに意見を学校教育に生かす。

- ・会議の精選による効率的な学校運営をすすめ、児童・保護者とのかかわりを一層重視して安定した学校経営を図る。

## (2) 今年度の目標と方策

学力向上の基本は落ち着いた学級経営と確実な授業であることを確認し、どの学級にも学校全体で関わるという共通認識をもつ。

### ① 学力向上

- ・計画に基づいた45分間の授業、教員一人一人が始め・最後の1分までを大事にする指導を行う。
- ・算数の習熟度別学習の充実と発展を期す。
- ・5、6年の英語活動に加え、1～4学年でも引き続き英語活動を英語活動を実施していく。
- ・8：25より、確実な指導のもとに馬三タイムの朝読書・漢字計算を実施する。(週3回)
- ・図書指導、朝読書、読書週間等を通して、読書活動の推進に努めるとともに、全児童が年間20冊以上の本を読むようにし、読解力の向上を図る。
- ・夏季休業中の5日間の補習と年6回の土曜補習授業に全教員であたるとともに、学習指導講師による放課後の水曜補習を確実にを行うことで、児童の基礎学力の定着を図る。
- ・個人面談を夏季休業中に実施し、個別に評価の説明をすると共に時数確保に努める。
- ・体力調査を継続し、基礎的な体力の実態を数値で確かめ、主体的に体力づくりに励む子どもたちの育成を進める。冬季には縄跳びと持久走にも力を入れる。
- ・授業改善プランの作成、実施を通して児童の学力向上と保護者への説明責任を果たす。
- ・国語における基礎学力の定着のため、区の漢字検定と平行し、今年度も漢字検定を2回実施する。

### ② 安全・防犯

- ・生命尊重と防犯教育の実施に力を入れる。セーフティ教室の実施、避難訓練に不審者侵入の対応訓練を取り入れる。
- ・地域の「馬込セーフティパトロール MSP」や町会との連携を強め、地域ぐるみの防犯安全対策を進める。
- ・親父の会やPTA、地域を中心に安全な遊び場として休日の校庭の有効活用を進める。
- ・区の「区民安全・安心メールサービス」の効果的な活用を図り、非常時の連絡体制の充実を図る。

### ③ 生活指導（いじめ、不登校）

- ・生活規範意識を高める指導の充実を図る。
- ・「人権啓発作品づくり、心のノートの利用」を通して規範意識と道徳的実践力を育てる。
- ・本校の生活指導上の基本である「①あいさつを進んでする。②正しい言葉遣いをする。③ものを大切にする。」を柱に生活指導の充実を図る。  
必要事項については全校での指導と共に全教職員の共通理解のもとに、学級指導での徹底に力を入れる。
- ・「いけないことはいけない」と指導する。  
地域教育連絡協議会発信による啓発活動に力を入れる。
- ・いじめ、不登校に対しては、素早い原因の究明と誠意・粘り強い対応を第一とする。スクールカ

ウンセラー、地域協力者（民生委員、児童委員等）、行政機関との連携を密にして課題解決を迅速・効果的に行う。

- ・地域の交流をねらい、3校連合の馬込1・2・3の運動会を継続していく。
- ・夏季休業中に登校日を設け、夏休みの過ごし方について指導する。

#### ④ 小・中連携教育

- ・小学校として教科（クラブ）や行事で連携できる活動を教員・児童の二つの立場から精選し中学校との検討を進め具体化する。生活指導面での互いの理解を一層進めるための話し合いを活発にする。

#### ⑤ 開かれた学校と特色ある活動

- ・音楽を中心とする学習発表会を通して、学校全体が系統性をもった指導の実施・一丸となった行事の実施を公開することで地域や保護者からの学校教育への理解を深めると共に児童に発表を通じた達成感を味わわせる。
- ・異学年による縦割り班活動による全校遠足・清掃活動・集会活動等を重視する。
- ・スポーツ行事開放委員会の継続を大切にする。
- ・さらに学習協力者を活用し、日本の伝統や文化に触れる体験活動を実施する。地域から学ぶ教材の充実を図る。指導計画に位置づけ、確実に次の学年に継承する。（犀星の離れ、いおの森・部屋の利用・シクラメンづくり）
- ・ホームページの充実と学校案内の作成に力をいれ説明責任の一助とする。

#### ⑥ 2年間の研究の成果を生かし、健康教育・食育をさらに進め、子どもの生活リズムの改善を進める。

- ・歯科校医、行政センターの歯科衛生士、養護教諭、栄養士などとの連携指導で家庭に対して健康教育の啓発を行う。

#### ⑦ 保護者・区民に信頼され地域から大事にされる学校として、常に下記のような心構えをもって職務に取り組ませる。

☆教育のプロとしての誇りをもち、常に自分を高める努力をしよう。

- ・1時間1時間の授業を大切にす教師
- ・一人一人の子どもの良さを認め、伸ばし、共に喜び合える教師
- ・保護者・地域に分かりやすく話すことのできる教師 説明責任を果たす。
- ・自らの働く姿で、働くことの素晴らしさを子どもに伝えることのできる主事
- ・常に明るく、気持ちのよい対応のできる教師、主事